

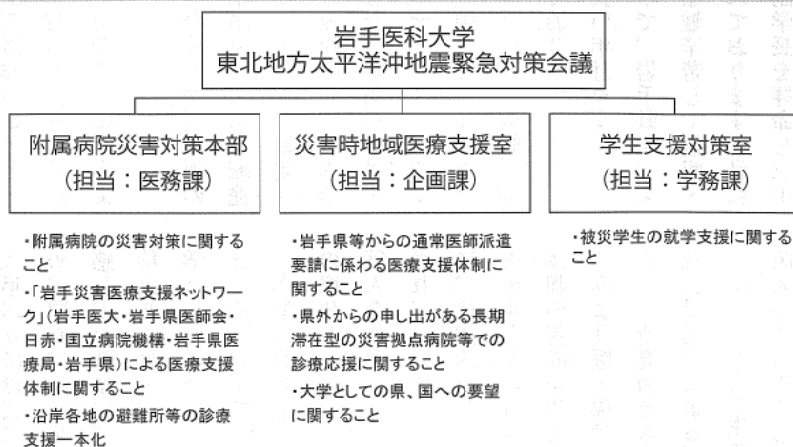
東日本大地震・大津波大災害に伴う本学の対応

(岩手医科大学報 2011.4 vol.415 掲載より)

3月11日(金)に発生した東日本大地震・大津波大災害に際し、本学では、地震直後から継続的に被災地への支援活動を行っています。本号では、本学の支援体制や沿岸部被災地等への支援活動の一部をご紹介します。

本学における支援体制

本学では図1の組織体制により、支援活動を行っています。また、沿岸部被災地への効果的な支援活動を行うため、小川学長や小林附属病院長をはじめとした本学職員が複数回にわたり沿岸部被災地の視察を行っています。



沿岸部被災地への支援活動

地震発生直後にDMAT(災害派遣医療チーム(医師、看護師、薬剤師))を、県立二戸病院や県立久慈病院等へ派遣し、その後は避難所における慢性疾患治療、健康管理、衛生管理による第二次災害予防に対応するため、複数の災害医療チーム(医師、看護師、薬剤師、事務員)や歯科医療班(歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士)による被災地の医療支援活動を継続的に行っています。

また、多数の本学医師らによる犠牲者の検案書の作成や、歯科医師らによる菌型照合など、警察活動にも大きく協力しています。他にも、被災者の心のケアを目的としたこころのケアチーム(精神科医、看護師、精神保健師等)や感染対策チーム(医師・薬剤師)による支援活動などが行われ、学内では全国から寄せられた支援物資の仕分け作業が行われています。

岩手医科大学震災募金のご案内

東日本大地震・大津波大災害に際し、被災により学業継続が難しい学生に対する経済的支援や今後単年で続くことが予想される被災地への地域医療支援のための資金、大学の教育施設の被災復興を目的として、岩手医科大学震災募金活動を開始しております。

なお、手続き方法等については企画部企画課 支援受付担当までお問い合わせください。

(お問い合わせ先)

岩手医科大学企画部企画課 支援受付担当

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1

TEL 019-651-5111 (内線 7022・7023) FAX 019-624-1231 E-mail :kikaku@j.iwate-med.ac.jp



副学長就任ご挨拶

平成二十三年四月一日付

―復興から再生、そして創成へ―

岩手医科大学 副学長 祖父江 憲 治

主陵会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、今般の大震災でご自身も、またご親族が被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

本学の歴史的事業である総合移転整備計画の一翼を担う医・歯学部基礎講座の矢巾移転途上に、未曾有の大震災が勃発しました。地震とそれに伴う津波は、東日本のみならず、日本全体に壊滅的な被害を与えました。時間が経過するにつれ、被害の甚大さはボディブローの如く奪いかかってきております。中でも、被災地である東日本は深刻の極みです。一方、復興への歩みも徐々に開始され始めております。今後、復興から再生への道のりは長い年月を要すると考えられます。この苦難の中で、岩手県が、東北が、さらには日本全体が艱難辛苦して復興・再生に努力する必要性に迫られております。私にとりまして、この時期に、副学長を拝命し三十

八年ぶりに母校に帰学することは天命と受けとめ、同時に身に余る光栄で責任の重さを日々実感しております。本学の誇るべき伝統と実績、特色ある医・歯・薬三学部を擁する医系総合大学としての発展に、微力ながら全力を尽くしてまいれる所存です。

本学におきましては被災した岩手全県の医療の復興から再生はもとより、今後さらに東北の巨大な先進の高度医療基地としての役割が期待されております。殊に矢巾キャンパス移転を機に、機能的な医・歯・薬三学部統合による岩手モデルともいえるべき独創的な教育・研究・診療体制の創成が望まれます。これを具現化すべく今春より医・歯学部基礎講座は各々統合講座となり、研究面でも三学部が連合した医・歯・薬統合研究所による研究活性化を開始します。

「岩手医大学生の優秀さ」、「この研究は岩手医大の協力をなくしては」、「この病気は岩手医大

に行かなければ」と教育・研究・診療の三位一体が国内外から認められてこそ、全国区かつ世界レベルで屈指の先進的医系総合大学としての地位を確立できるのです。この為には、岩手医大に集う学生と教職員が一丸となり目的に邁進することです。大堀理事長の大号令で矢巾移転が決定し、小川学長の指揮下に順調に移転プログラムが進行し、幸いこの移転プログラムを機に人心が一新されつつあります。本学の豊富な人材と経験・資源に新たな視点を加えることにより、強烈な個性の岩手モデル創成は可能となり、主陵会の皆様のお力添えがあつてこそこの事は成就すると信じております。

「復興から再生、そして創成へ」と岩手医大の発展に、微力ながら一歩一歩努力して参る所存です。主陵会の皆様の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。